

平成29年度事業計画

《事業活動方針》

本市の観光動向は、昨年の熊本地震による影響が少しずつ回復する中、一般観光をはじめ、従来のスポーツ観光も増加の傾向にあります。また、一旦、下落傾向となったインバウンド観光客の動向についても、円安やアジア新興国の所得拡大などの需要喚起により、今後、一定水準を維持するものと推測されています。

このような中、宮崎・北九州市間の東九州自動車道の陸路、宮崎カーフェリー神戸航路や大分・関西航路による海路、伊丹・関空を結ぶ空路を最大限に活かし、関東圏はもとより、昨年以上に関西圏の誘客を県内市町村や隣県との広域連携を強めながら事業の一層の拡大と充実を図って参ります。

また、一昨年からオープンした青島ビーチパークや宮交ボタニックガーデンのリニューアル、こどものくにのリニューアル計画等、変化する青島エリアと一ツ葉エリアの連携を強化し本市の自然と神話を周遊する事業を強化して参ります。

また、本市観光の中心となっているスポーツ観光については、宮崎県や各種スポーツ団体との協力のもと、プロ野球・Jリーグのキャンプ受入の充実や東京2020オリンピック・パラリンピック開催に係る合宿等の誘致や受入に取り組むと共に、観光情報発信事業や観光客受入事業に取り組んで参ります。

本年度は、宮崎市観光協会創立70周年、ジャイアンツ宮崎キャンプ60周年を迎えるなど、節目の年となっています。

本年度につきましても、会員の皆様のご協力を頂きながら、県・市をはじめ周辺観光地及び各観光協会との連携を図り、更なる観光振興に努めて参ります。

各事業は、公益法人認定基準に準じ、事業グループ毎に分類。

公益目的事業

公1. 誘致活動事業

1. 観光客誘致拡大事業

東九州自動車道「宮崎ー北九州市」間の全線開通に伴う移動時間の短縮や、青島地区、一ツ葉地区の誘客事業など、本市観光を取り巻く状況の変化に係る誘客対策として、旅行会社や雑誌編集者等様々な分野におけるキーマンの招聘や観光キャンペーンの実施を通して、旅行商品の造成、雑誌やWEBへの記事掲載等に繋げ、観光PRの推進や集客面等での効果や、観光入込客数及び宿泊客の増加を目指し、観光客誘致対策の強化を図る。

また、県外からの誘客に繋がるイベント等と連携し、宿泊効果に繋がる取組みや情報発信に努め誘客を図る。

- (1) 主要旅行代理店集中送客宣伝事業
- (2) 主要協定旅館連盟助成事業
- (3) 旅行代理店・旅行雑誌編集者等の招聘事業
- (4) 主要イベント連携事業

2. 教育旅行支援事業

平成28年に発足した宮崎県教育旅行誘致推進協議会の会員と共に県内関係機関が一体となった誘致受入事業を展開し教育旅行の誘致に努める。宮崎市内に宿泊された方、みやざき元気体験プログラムを利用された方を対象に、平成23年度から実施している教育旅行への補助制度については平成33年度までに誘致決定した学校に対しての宿泊補助を継続していく。

- (1) 教育旅行誘致補助事業

3. 観光情報発信事業

宮崎市の観光やグルメ、温泉、体験、イベント等の情報を旅行雑誌や新聞掲載、ビジョン広告等の各種媒体を通しての情報発信、キャンペーン展開による幅広い年齢層の観光客へのPRを通して、宮崎への旅の動機づけを喚起させ観光誘客を図る。

特に、本年度は関西地区でのプロモーションを強化し、ニーズや情勢の変化を的確に捉えターゲットを絞った戦略的な観光誘客と効果的な事業の展開を行う。

- (1) 観光リゾート情報発信事業
 - ① 関西誘客プロモーション事業<新規>

神戸フェリー・LCC就航・東九州自動車道開通（宮崎・北九州間）など交通網の充実を契機に、更なる誘客が期待される中、関西エリアをターゲットに、閑散期（4月～7月、9月～1月）に旅行需要を喚起させ、観光客の更なる誘客に努める。特に女性（団体）や家族連れをターゲットとした旅行商品造成支援や空港でのおもてなしを行い、メディア等と連携したプロモーションを実施する。

- ② 中部地区情報発信事業

直行便が運航している中部地区からの集客増を目的に、日本野球機構の協力をもらいナゴヤドームで開催されるオールスターゲームで宮崎市の夏イベントやプロ野球事業、神話関連事業のプロモーションを行う。また、旅行会社等を訪問し宮崎市への誘客に繋げる。

期 間：平成29年7月13日～14日

(2) インバウンド関連事業

①外国人誘客みやざきモデル事業

直行便が就航している（台湾、韓国、香港）から更なる誘客を図るため、閑散期に新たに造成された旅行商品により、市内に宿泊した旅行者に宿泊補助を行う。

また、中心市街地の飲食店や買い物等で使えるお得なクーポンを付与し、個人型旅行の集客に努めインバウンド観光客のリピーター増を図る。

(3) ホームページ情報事業

4. 観光資源活性化事業

県内各観光地と連携を図りながら、本市の魅力ある観光資源を活用した事業や新たな観光素材の開発の視点から、幅広い観光客層をターゲットにした誘客事業を展開する。

神話の舞台となっている青島をはじめ、日向神話の魅力を効果的に発信し、滞在型観光の推進と、各観光地・施設等の情報を県外の旅行会社や観光関係機関等へPRを図る。

また、宮崎ならではの「自然」「伝統」「文化」「食」等を取り入れた魅力ある体験プログラムを造成し、観光客の誘致に努める。

(1) 記紀編さん1300年記念事業

「日本をはじめた神々の国 宮崎」をキャッチコピーとして神話の舞台となる青島、鶴戸神宮などの観光ルートをはじめ、県内の各観光地と連携を図りながら事業を展開する。

また、夏休み期間中に、宮崎に伝わる神話の魅力について、様々な観光資源と組み合わせながらPRを行い、本市の認知度向上を図り誘客に努める。

(2) 宮崎体験旅行誘致活性化事業

5. 広報宣伝活動事業

観光客の誘致を推進するため、各地で開催される祭りへの参加、観光宣伝物（観光パンフレット、観光カレンダー等）の作成、観光名刺や機関紙等、様々なツールを活用し宮崎の観光地やイベント等の観光情報を全国各地で発信し宮崎への誘客を図る。

(1) サンシャインレディ観光PR事業

観光客の誘客を促進するため、観光宮崎の親善使節として県内外での観光宣伝、各種大会、イベント等の歓迎行事に参加することにより、宮崎を幅広くPRする。

本年度は、第34代宮崎サンシャインレディの募集及び選考会を実施する。

(2) 観光誘致宣伝物作成事業

(3) 誘致活動事業

(4) 観光名刺印刷

(5) 機関紙

(6) まつり交流事業

(7) 宮崎空港内看板掲出事業

6. 国内外観光交流事業

本事業については、中国山東省チンタオ旅游局及び旭川観光コンベンションビューローとの友好盟約締結を機とした交流事業を実施し、本市の観光情報の発信はもとより、国内外からの観光誘客に努めると共に地域経済の発展に寄与していく。

(1) 海外他友好都市交流事業

(2) 観光団交流事業

樫原市観光協会友好盟約締結＜新規＞

昭和41年2月に、宮崎・樫原両市の友好姉妹都市盟約を締結後、観光団交流事業や物産展開催などを通して、相互交流を図っているが、両市観光協会の友好盟約の締結を行い、一層の効果的な事業展開を図っていく。

公2. 観光客受入体制関連事業

1. 観光客受入事業

受入体制の充実を図るため、観光関係者向けに資質向上やスキルアップを目的とした研修会を開催し、来宮した観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供する。併せて、周辺の観光地及び施設等との連携を図りながら、利便性、周遊性の向上に努める。

観光宮崎を代表する観光地「青島」と「一ツ葉」間を結ぶシャトルバスを運行し、交通利便性の向上を図り、また観光客の滞在時間の増加と満足度を高めるため手ぶら観光を実施し更なる受入体制の充実を図る。

(1) 手ぶら観光周遊利用促進事業<新規>

飛行機や高速バス、鉄道を使い宮崎に訪れた観光客の観光に要する時間を延ばし、満足度向上を目指すことを目的に国が推進する「手ぶら観光」に取り組み、受入体制の充実を図る。また、青島～空港～一ツ葉地区間を結ぶシャトルバス、名称は公募で決定した「サンシャインミヤザキ」を運行し、観光客の利便性向上と2次交通の充実を図り、周遊性や滞在性の向上に努める。

①手ぶら観光

受付場所：宮崎ブーゲンビリア空港、スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y

利用料金：手荷物配送 1, 000円/個（ホテルまでの当日配送）

一時預かり 500円/個（宮崎空港のみ）

②サンシャインミヤザキ

運行期間：8月・年末年始（35日間運行）

運行本数：1日8便 4往復

所要時間：50分

利用料金：1, 000円

※1日乗り放題ワンコインパス使用の場合は500円

バス利用者には、一ツ葉エリア・青島エリアの特典付き周遊マップを配布。

(2) ビーチトレイン運行事業

青島地区の夏季魅力アップの一環として、青島ビーチとこどものくにを結ぶ「ビーチトレイン渚号」を運行し、青島地域の魅力アップを図るとともに、周遊性の向上を図る。

運行期間：7月～8月

利用料金：300円（片道）

ル ー ト：「青島ビーチ」～「こどものくに」

(3) 観光インフォメーション管理運営事業

青島観光インフォメーション管理運営事業

青島観光インフォメーションが青島参道入口青島屋内にリニューアルオープンする。

観光ガイドボランティアが1名常駐し、観光案内や観光客のニーズを把握し、より一層の青島観光の一助に努め、各種サービスを提供する。

(4) 観光従事者研修会

(5) 渚の交番整備・運営事業

(6) レンタサイクル事業

(7) 外国人観光客向けバスカード事業

(8) おもてなしボランティア事業

2. 観光イベント推進事業

観光客をターゲットとした、南国ムードを活かした、魅力ある宮崎の観光資源をPRするイベントの開催や新たな誘客素材の掘り起しと開発を行う。また、各種観光行事等の主催団体に対して、補助金等の助成や県内観光情報の提供などを通し、地域活性化に努める。

(1) フラおもてなし誘客推進事業<新規>

「フラの聖地 宮崎」のイメージの定着を目指し、南国宮崎の特色を活かしたフラを素材としたおもてなしで宮崎への誘客を図り、地域活性化や観光浮揚に繋げる。

また、宮崎ブーゲンビリア空港や主要イベント会場において、フラを披露し来宮される方への歓迎ムードを高める。

(2) みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

今年で7回目の開催となる本イベントは、17日間とロングランで開催、夏休みの誘客素材として活用し多くの集客に努める。

期 間：平成29年8月4日～20日

場 所：フローランテ宮崎

(3) みやざき青島国際ビールまつり

(4) 行事負担金

(5) 新規事業開発事業

(6) みやざきふるさと食材アピール事業

3. スポーツ観光受入事業

プロ野球やJリーグなどの宮崎キャンプ期間中、円滑なキャンプ受入環境を整備する。

キャンプ観戦の観光客の周遊性や利便性の向上に努め、渋滞等の交通対策緩和のため交通体制の整備、観光客の満足度を高める取り組みを行う。また、歓迎ムードを盛り上げるため、宮崎市内外各所での賑わい創出に努める。

(1) キャンプ受入事業

①三球シャトル運行支援事業

観光宮崎の集客要素として、全国から観光客の集まるプロ野球春季キャンプに合わせ、観光客の利便性と周遊性の向上、渋滞緩和策も兼ねて3球団のキャンプ地を結ぶ無料シャトルバスを運行しキャンプ地を周遊できる環境整備と更なる誘客を図る。

②プロ野球3球団連携事業

オリジナル3球団連携ロゴマークの入ったグッズなどの製作を通して、宮崎キャンプの話題性と3球団のキャンプ地の周遊性を高める。キャンプ期間中は、3球団連携のユニフォームを着用するなど、街全体で盛り上げムードを創出し、更なる「スポーツランドみやざき」への集客を通し、観光振興を推進する。

(2) スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

(3) Jリーグキャンプ誘致事業

(4) みやざきゴルフマンスキャンペーン事業

(5) 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

4. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球やJリーグチームの本拠地においてキャンプ地宮崎のPR及び宮崎キャンプへの誘客を図る。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇るスポーツ施設について、全国有数の日照時間・温暖な気候などの恵まれたスポーツ環境や支援・受入体制についてセールスを行い、スポーツランド宮崎への誘致と受入に努める。

(1) スポーツランド情報発信事業

ジャイアンツ・ソフトバンク・オリックスのキャンプ地として、スポーツランド宮崎の魅力を高めるため、プロ野球チームの本拠地において、宮崎の良質なスポーツ環境や観光素材の情報発信を行う。

(2) ジャイアンツキャンプ地みやざきDAY

ジャイアンツキャンプ60周年を記念した取組みを行う。

(3) キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業（Jリーグ）

カード：ベガルタ仙台 VS ジュビロ磐田

期 日：平成29年8月9日

場 所：ユアテックスタジアム仙台

(4) みやざきスペシャルゲーム開催事業

京セラドーム大阪

カード：オリックス・バファローズ VS 埼玉西武ライオンズ

期 日：平成29年5月13日 ※デイゲーム

東京ドーム

カード：巨人 VS 横浜DeNAベイスターズ

期 日：平成29年7月1日 ※ナイトゲーム

福岡ヤフオクドーム

カード：福岡ソフトバンクホークス VS 北海道日本ハムファイターズ

期 日：平成29年7月29日 ※デイゲーム

(5) スポーツセールス事業

5. 少年少女スポーツ大会支援事業

少年少女たちが、野球やゴルフなどのスポーツ大会を通じてスポーツ交歓や交流を図るほか、未来を担う子供たちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行う。

(1) みやざきフェニックス・リーグ少年少女野球大会

(2) ゴルフマンス観光推進事業

収益目的事業

収1. スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y 運營業務

宮崎駅西口拠点施設「KITENビル」の1階で運営する「スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y」では、プロ野球やJリーグなどの商品の販売やキャンプ地みやざきに関連する展示物等を設置し、魅力的な店舗作りを行い、様々なイベントを展開し情報発信に努める。

また、レンタサイクル貸出しに加え、本年度から手ぶら観光サービスを実施し、宮崎のおもてなしの拠点として観光客の受入体制の充実にも努める。

収 2. プロ野球公式戦、オープン戦等開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

法人会計

1. 会議の開催
総務企画委員会、理事会、定時総会等
2. 観光功労者の表彰
3. 会員管理・交流
4. 職員研修
5. 観光協会設立70周年記念<新規>

宮崎市観光協会は、昭和22年12月4日に創立され、観光客誘致宣伝の推進や観光客受入体制の整備など観光に関する事業の振興を図っているが、今年、70周年を迎えるにあたり、先人の偉大な足跡と理念を振り返り、会員をはじめとする関係機関の一層の連携を強化し、宮崎の観光振興と発展に寄与していく。

その他関連事業（協力会等）

- ① 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会
既存キャンプ球団の継続及び期間の長期化のためには、キャンプ期間の実践形式の練習環境が重要であることから、他県でキャンプを張るチームへも宮崎での練習試合開催を呼び掛け参加の依頼を行う。プロ野球キャンプが沖縄県に一極集中する中、自治体及び団体で構成される「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」が主催となり開催していく。
- ② 読売巨人軍宮崎協力会
読売巨人軍宮崎キャンプ60周年を記念した各種事業を実施する。
- ③ 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会
- ④ オリックス・バファローズ宮崎協力会
- ⑤ Jリーグ等宮崎協力会
- ⑥ みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会
- ⑦ ダンロップフェニックストーナメント宮崎協力会
- ⑧ 渚の交番青島プロジェクト実行委員会
青島ビーチセンター指定管理業務
青島海水浴場管理運営業務
青島ビーチ魅力アップ事業